

正方形のようなアイランドキッチンが、調理、談話、連絡の要となっている。回遊できる階段下のサニタリー家事動線は、裏のデッキとつながった。三種の床材、天井の高低差とLED照明、色使い、収納、建具の扱い、家族連絡ボードは、まさにGood Design。

リフォーム前後の写真



C 和の雰囲気の心地よさや、家族各々が過ごしやすい工夫によって、世代を越えて集まるLDK空間を目指した。



A LDKの雰囲気が玄関ホールに滲み出す



D 料理をしていると、キッチンを囲むように家族が集まり、自然と会話も弾む



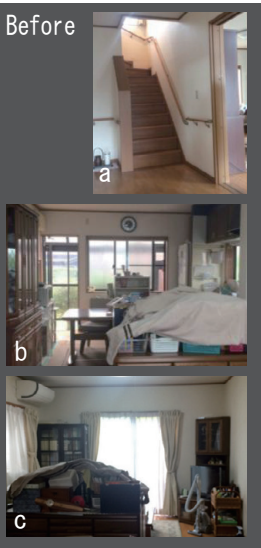
B 床座が心地よく縁側のような空間



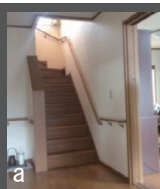
E 子どもと一緒に料理を楽しむ



F 家事動線の短縮 (LDK⇄洗脱室)



Before



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

リフォームの動機 40歳代夫婦と子ども2人、祖母と一緒に暮らすことになった。子世代と親世代の双方にとって居心地の良い暮らしの中心となる場の必要性を感じ、リフォームに至った。

工夫点 ①畳リビング

床座が習慣化している祖母と、素足で過ごす子どもたちのために、リビングエリアは、フローリングではなく、畳敷きとした。直接座ることができ、人数を制約することが無いため、ソファで過ごしていた頃よりも、対話が増える結果となった。

性能向上の特性
断熱性能、省エネ性能 (LED、IoT)

特に配慮した事項
家族間のコミュニケーションを配慮した回遊型LDK(家事動線の短縮と家族間の時間を生んだ)
造作家具・建具 (デザインのみならず、安全・清掃性を考慮 [中空ポリカーボネートを採用])

データ

所在地	愛知県愛西市	築後年数	14年	施工期間	90日間
該当工事床面積	29.81㎡ / 総工事床面積 91.99㎡	該当部分工事費	670万円 / 総工事費 940万円		
居住者構成	65歳以上：1人、15～64歳：2人、15歳未満：2人、ペット：				

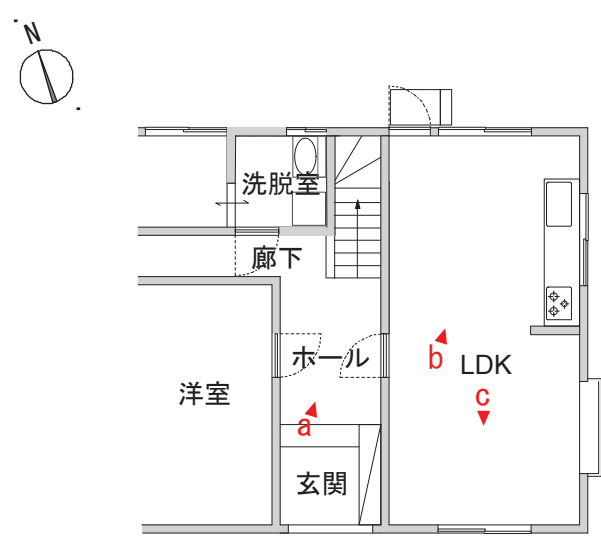
②正方形のキッチン台

正方形のキッチンを作作した。家族全員が集まっても無理なく作業が可能であり、キッチンを囲んで過ごす時間が、自然なコミュニケーションを生み出している。

③格子戸の家具・建具

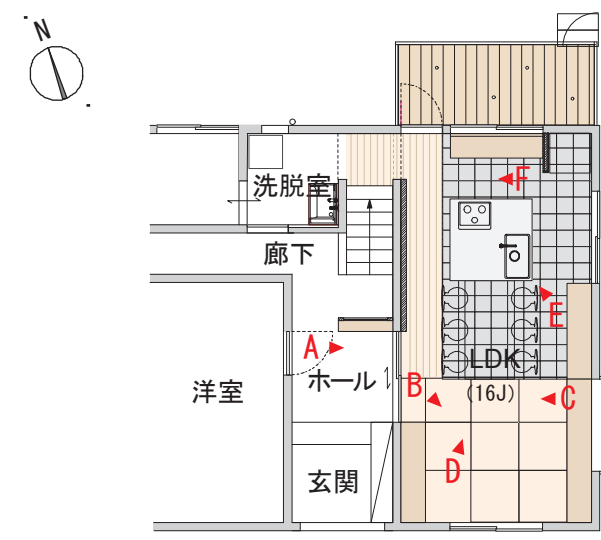
災害時を考慮し、家具は備え付けとした。家具と建具に透過性のある格子戸を採用したことで、空間に奥行きが出るだけでなく、玄関ホールを緩やかに繋げ、家族の帰宅や気配を感じさせる。

リフォーム前の平面図



改修前 平面図 Scale 1/100

リフォーム後の平面図



改修後 平面図 Scale 1/100

※改修範囲：着彩箇所

リフォーム部位：■居室/ ■台所/ □浴室/ □便所/ □洗面所/ □廊下/ □階段/ □玄関/ □クローゼット/ □サニタリー共用部分